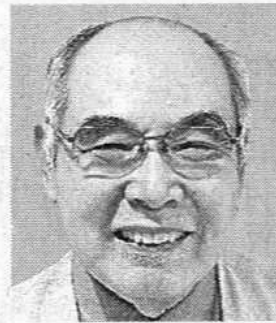


# 被爆者から

## オバマ氏へ

# 次の「決断」問いたい

### 伊藤正雄さん(75) 広島市佐伯区



4歳の時、広島市庚午町

(現西区)で被爆。原爆で

兄と姉を失った。65歳から

平和記念公園(中区)でガ

イドボランティアを続け

る。被爆者の記憶と平和へ

の願いを次代に伝えるため

広島市が制度化した「被爆

体験伝承者」としても活動

する

オバマ米大統領の広島訪

問決定を知った時、「やつ

と決断されましたね」と思

った。2009年のプラハ

演説で「核兵器なき世界」

を目指すと明言した時か

ら、核兵器廃絶の取り組

みをライフワークにするこ

う意気込みを感じてい

た。

ただ核軍縮の成果は見え

ない。オバマ氏はノーベル

平和賞を返上するべきだと

憤ったこともある。だが、

悩み抜いた上で決断したの

だろう。熱意は変わってい

ないと信じている。

オバマ氏は緑豊かな、き

れいな広島を街を目にする

だろう。71年前、学徒動員

で建物疎開に汗を流してい

た多くの中学生が命を奪わ

れ、血を流したことを知っ

てほしい。原爆慰霊碑の碑

文「過ちは繰返しませぬか  
ら」も読んでほしい。「過  
ち」がどう英訳されて伝わ  
るか分からないが、碑文の  
意味を自分なりに考えても  
らいたい。

平和記念公園で子どもた  
ちをガイドする際、園内の  
「原爆の子の像」が195  
8年に完成した経緯を紹介  
している。当時、平和を願  
う子どもたちが街頭で募金  
し、全国に協力を呼び掛け  
た。今、「あなたはどうか立  
ち上がるかな」と問い掛け  
る。オバマ氏にも期待を持  
って同じ問いを投げ掛けた  
い。  
(久保友美恵)